

# 公園整備事業実施状況説明資料

## ◆建設局運営方針の概要

○だれもが住み・働き・訪れたい魅力ある都市空間を創出する。

○南海トラフ巨大地震に備えた対策や密集市街地における道路整備、近年多発している集中豪雨への対応を強化するための地域特性にあった局地的な浸水対策など、震災・風水害に備えた都市基盤施設の機能拡充や、事業継続計画の策定による災害への備えを進め、安全・安心な市民生活を実現する。

○道路・公園など膨大な都市基盤施設について、高齢化が進んでいるため、計画的な管理を行い、安心安全な市民生活や都市基盤を支える機能を維持していく。

## ◆大阪市の全体計画における公園整備事業の位置付け

### 新・大阪市緑の基本計画

基本方針(だれもが住みたい・働きたい・訪れたいと思う“みどりの基盤”を構築する)において、「災害に強い都市空間の創出」、「人と自然が共生する都市環境の創出」、に位置付けられている。

### 大阪地域防災計画

大阪市地域防災アクションプランにおける、「避難施設の確保及び防災空間の整備」の目標として、「避難場所となる都市公園の整備」が位置付けられている。

# 事業計画・事業箇所図



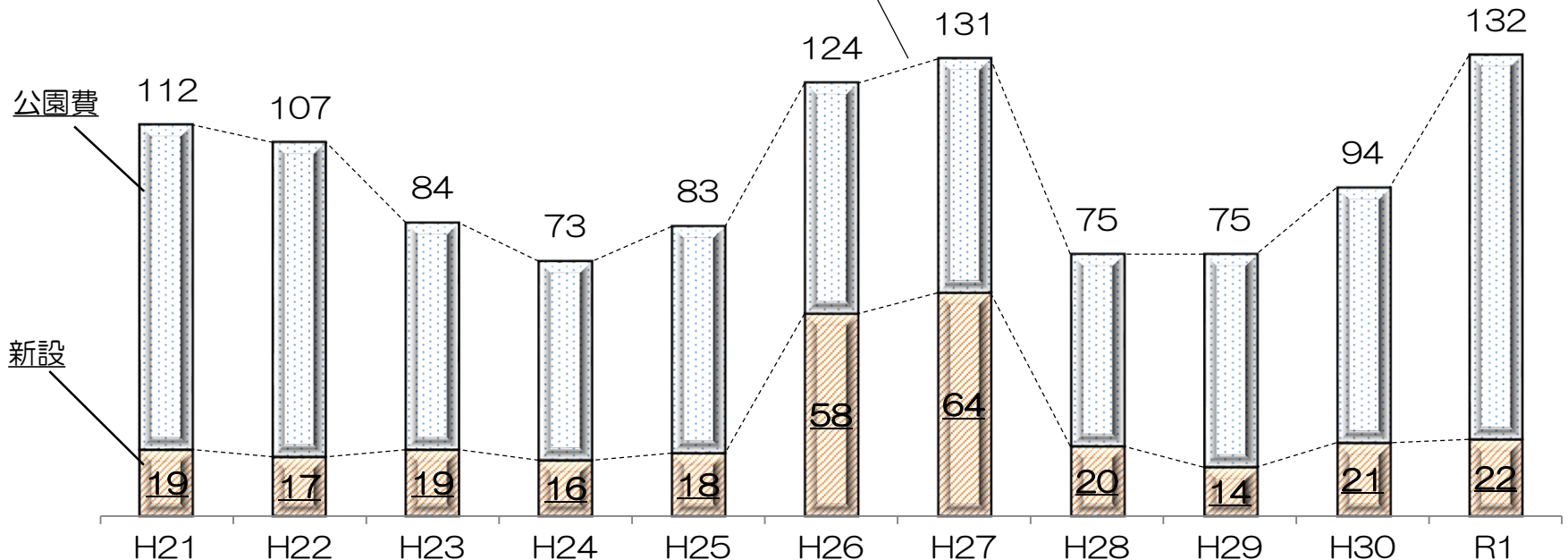
# 事業費の推移

公園事業費全体については、平成30年度に発生した台風21号の被害により、被害施設の復旧関連事業費が増額したため、右肩上がりとなっているが、新設公園関連事業費はほぼ横ばいの状態となっている。

## 公園事業費の推移（億円）

※令和元年度は予算額、平成30年以前は決算額を記載

H26・27の決算額が増加しているのは、  
用地費の繰戻しを促したことによる。



# 選択と集中の考え方等

## 局運営方針に照らした事業の位置付け

### 【局運営方針（平成31年度）】

- 大阪市では、道路、公園など膨大な量の都市基盤施設を管理しており、かつ、古くから都市化が進んだため、都市基盤施設の高齢化が進んでいる。これらの都市基盤施設は安全・安心な市民生活や都市活動を支える基盤であるため、計画的な管理を行い、その機能を着実に維持していく。また、様々な分野のインフラ施設を所管していることを強みとし、局の各分野が効果的に連携し、一体的な局運営に取り組む。
- 南海トラフ巨大地震を踏まえた対策など、震災・風水害に備えた都市基盤施設の機能拡充により安全・安心な市民生活を実現する。

## 事業の選択と集中の考え方

### （優先的に実施する公園）

- 事業認可の取得などの、既に事業着手している公園。
- 関連事業の事業計画があるものや、既に公園用地として取得済みの公園。
- 本市の財政状況が非常に厳しい状況ではあるが、今後も事業費の確保に努める。

以上を踏まえ、限られた財源の中で、公園事業の推進を図る。

# 実施中事業一覧（公園事業）

事業名 (公園・緑地名)	種別	全体 事業費 (百万円)	進捗率 (整備 面積 ヘース) %	進捗率 (事業費 ヘース) %	完了 予定 年度											
						H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
正蓮寺川	緑地	6,700	10	35	R7	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
難波宮跡 ※今回対象	歴史	1,500	0	57	R4			●	●	●	●	○	○	○	○	
毛馬桜之宮 ※今回対象	総合	15,600	88	94	R5	●	●	●				○	○	○	○	○
大和川	風致	26,800	71	99	R5								○	○	○	○
御幣島中央	近隣	1,500	0	70	R3					●		○	○	○		
巽	地区	16,200	72	98	R5		●	●			●	○	○		○	○
中之島西	街区	54	97	96	R4				●		●	○	○	○	○	
鶴見緑地	緑地	127,200	99	99	未定		●	●	●							

●: 事業実施  
○: 事業予定